

# グライダー飛距離 二つの日本記録

浜田出身・梅谷さん(独  
在住)

グライダー飛距離で二つの日本記録を樹立した梅谷堅三さん(ドイツ国内  
(梅谷さん提供))



## 「帰郷し教室開きたい」

動力なしで飛ぶグライダーの飛行距離で、浜田市三隅町出身でドイツ在住の梅谷堅三さん(58)が昨年11月に達成した二つの記録が、このほど日本記録として一般財団法人日本航空協会(東京都港区)に認定された。一つは自ら保持していた日本記録の更新。梅谷さんはさらなる記録更新への意欲を示すとともに、「帰郷してグライダー教室を開く」との長年の夢を膨らませている。

記録はともに翼の長さが無制限の「D0級(オープンクラス)」。アフリカ・ナミビア共和国の飛行場を発着点とした。

まず昨年11月22日、事前のコース設定なしで往復する「自由往復距離」で925・56キロをマーク。8時間59分の飛行で、従来の日本

記録を17・21時上回った。

2日後には同様にコース設定なしで三角形を描く「自由三角コース距離」で1076・37キロを8時間37分かけて飛行。2011年に自らが樹立した日本記録を28・60キロ更新した。

最高到達高度はともに約4500メートル。低酸素に苦し

みながら操縦かんを握った。梅谷さんは昨年、東京に置いていた本籍地を出身地に戻しており、「故郷島根の人間として記録を達成でき、本当にうれしい。今後も飛べる限り、記録に挑戦したい」と話す。

大学で魅せられたグライダーを続けるため、本場の

ドイツで1983年から暮らし、今は商社を経営するが「何年か後には故郷に帰りたい」という。膨らむ夢は、ドイツで培った人脈も活用し、故郷でグライダー教室を開講すること。「鳥になつたような爽快感を、一人でも多くの人に楽しんでほしい」と望んでいる。